

評価者氏名：\_\_\_\_\_

## 「H P C I 戦略プログラム」

H 2 5 年度「京」の戦略プログラム利用枠における重点課題追加配分枠 課題選定

## 評価記入シート

課題番号：\_\_\_\_\_

課題名：\_\_\_\_\_

課題代表者：\_\_\_\_\_

## 1. 成果の科学的又は社会的意義

項目	評価の観点	評価点 (該当する評価に○)
1-1) 見込まれる成果の科学的又は社会的意義		
見込まれる成果が、画期的な科学的成果又は、社会的課題の解決に資する成果であること。	計算科学としての意義はどうか。科学的又は、社会的ニーズが明確か。計算結果を科学的又は、社会的成果につなげるシナリオが明確か。	5：非常に優れている 4：やや優れている 3：妥当である 2：やや劣っている 1：劣っている
1-2) 成果創出の実現可能性		
見込まれる成果創出の実現可能性が高いこと。	研究計画が適性かつ具体的か。	5：非常に優れている 4：やや優れている 3：妥当である 2：やや劣っている 1：劣っている
1-3) 「京」の最大限利活用		
「京」の能力を最大限利活用しなければ解決できない大規模計算が必要な研究課題であること。	「京」でなければ実行できない大規模計算であるか。その根拠が明確か。	5：非常に優れている 4：やや優れている 3：妥当である 2：やや劣っている 1：劣っている

追加コメント

## 2. 研究体制

項目	評価の観点	評価点 (該当する評価に○)
2-1) 分野内の研究体制		
見込まれる成果を創出するために、課題代表者を中心に研究実施者間で必要な研究体制を構築していること。	研究計画を実現する分野内の体制が整備されているか。	5 : 非常に優れている 4 : やや優れている 3 : 妥当である 2 : やや劣っている 1 : 劣っている
2-2) 幅広い分野にわたる研究体制 ※該当しない研究課題の場合は、当評価項目の対象外としますので、「対象外」を選択してください。		
計算科学分野だけでは社会的課題を解決できない研究課題の場合、課題に関連する幅広い分野の研究者や企業等との協力体制を構築していること。	課題実施や成果波及のために、分野を越えた協力体制が整備されているか。	5 : 非常に優れている 4 : やや優れている 3 : 妥当である 2 : やや劣っている 1 : 劣っている 0 : 対象外

追加コメント

## 3. 準備状況

項目	評価の観点	評価点 (該当する評価に○)
3-1) 目標達成状況		
これまでの研究開発において平成24年度までの目標を達成していること。	これまでの成果実績はどうか。	5 : 非常に優れている 4 : やや優れている 3 : 妥当である 2 : やや劣っている 1 : 劣っている
3-2) 「京」の最大限利活用準備状況		
「京」の能力を最大限利活用しなければ解決できない大規模計算を実施する準備ができていること。	利用アプリケーションの超並列実行の実績、又は準備状況はどうか。	5 : 非常に優れている 4 : やや優れている 3 : 妥当である 2 : やや劣っている 1 : 劣っている

追加コメント

#### 4. 追加配分の必要性

項目	評価の観点	評価点 (該当する評価に○)
4-1) 追加配分の必要性		
「京」の計算資源を追加配分することによる効果が見込まれること。	追加配分により、例えば、成果の質の向上、成果創出の加速などの効果が見込まれ、その内容が重要かつ明確か。	5：非常に優れている 4：やや優れている 3：妥当である 2：やや劣っている 1：劣っている

追加コメント

#### 5. 総合評価

項目	評価点 (該当する評価を○で囲んで下さい)
評価項目 1-1) ~ 4-1) の評価を踏まえ、総合的に評価して優先課題に相応しいか判断する。	◎：最優先で選定すべきである ○：選定すべきである ×：選定すべきでない

追加コメント